大野 俊夫

Toshio Ohno

Founder / Entrepreneur / Business Innovator

日本のオンライン決済黎明期から、
技術を発明し、事業へと変えてきた起業家。

1990年代初頭より、通信技術とクレジットカードを組み合わせた非対面型決済システムの企画・技術開発・事業化に従事。インターネット黎明期には、現在のGMOペイメントゲートウェイ株式会社の前身企業において、創業期からオンライン決済事業のビジネスモデル構築、システム開発、事業化を推進した。

ONLINE PAYMENT

インターネット普及前から非対面型決済の開発・事業化に取り組む。

PATENT / INNOVATION

オンライン決済関連の公開特許情報に「発明者 大野俊夫」として記録。

MEDIA

1990年代、The Japan Timesにオンライン決済事業への取り組みが紹介される。

TODAY

現在は再生医療・Longevity・バイオテクノロジー領域の社会実装を推進。

「技術を発明するだけではなく、社会に実装し、事業として成立させる。」

その思想を一貫したテーマとして、次世代の産業創出に挑戦している。

PROFILE

詳細プロフィール

1990年代初頭より、通信技術とクレジットカードを組み合わせた非対面型決済システムの企画・技術開発・事業化に従事。

インターネット黎明期には、現在のGMOペイメントゲートウェイ株式会社の前身企業において、創業期からオンライン決済事業のビジネスモデル構築、システム開発、事業化を推進した。

オンラインサインアップ、オンラインチケット販売、オンライン保険申込、オンラインソフトウェア販売、EC向けクレジットカード決済ゲートウェイなど、現在では一般的となったインターネット上の非対面決済につながる複数のサービスモデルを企画・開発・事業化。

当時の活動記録には、インターネットプロバイダー、通信会社、オンラインサービス事業者などへのシステム導入に加え、EC向け決済ゲートウェイやSSL暗号技術を活用した安全なオンライン決済環境の構築などが記録されている。

また、オンライン決済関連技術について特許出願を行い、公開特許情報には「発明者
大野俊夫」として記録されている。

その取り組みは1990年代、英字新聞 The Japan Times
にも取り上げられ、インターネットを活用した新しい決済・ビジネスへの挑戦が紹介された。

以降も、通信、ソフトウェア、情報セキュリティ、FinTech、新規事業開発などの領域で、技術とビジネスを融合した事業創出に携わる。

現在はその経験を活かし、再生医療・Longevity・バイオテクノロジー領域を中心として、先端技術の社会実装と新たな事業モデルの構築に取り組んでいる。

HISTORY | ONLINE PAYMENT

1990年代 - 日本のオンライン決済黎明期

通信 × クレジットカード × インターネット

インターネットが社会インフラとして普及する以前から、通信ネットワークを利用した非対面型クレジットカード決済に着目。

1990年代にはIVR（音声応答システム）を活用したサービスや非対面決済システムを開発し、その後、インターネットを活用したオンライン決済サービスへ事業領域を拡大した。

経歴資料には、1990年代前半の特許出願、および1995年以降のオンライン決済サービス開発・事業化が記録されている。

PATENT / INNOVATION

オンライン決済関連技術

発明者	大野 俊夫
特許出願番号	特願 平05-252150
公開番号	特開 平06-243150
出願人表示	GMOペイメントゲートウェイ株式会社
発明者表示	大野 俊夫
出典	特許情報プラットフォーム「J-PlatPat」

PATENT RECORD

Inventor Toshio Ohno
Application 特願 平05-252150
Publication 特開 平06-243150
Applicant GMO Payment Gateway, Inc.
Source J-PlatPat

※上記はJ-PlatPatに掲載されている公開特許情報に基づく表記です。現在の権利存続を示すものではありません。

INNOVATION

技術を事業へ変える

大野俊夫の事業活動は、単なる技術開発にとどまらず、技術を実際のサービスへ落とし込み、市場へ導入する「事業化」までを一体として進めてきた点に特徴がある。オンライン決済、情報セキュリティ、FinTech、そして現在の再生医療・Longevity領域まで、その姿勢は一貫している。

MEDIA

The Japan Times

1990年代、The Japan Timesに掲載

オンライン化が本格化する以前から、インターネットとクレジットカードを活用した新しい決済サービス・ビジネスモデルに取り組む若手起業家として、その活動が紹介された。

> “ Firm goes on-line to check ”
>
> The Japan Times

The Japan Times掲載記事より。若き日の大野俊夫。オンライン決済事業への取り組みが紹介された。
※新聞紙面画像をWeb上のPDFに掲載する場合は、The Japan Timesの転載許諾取得後に差し替えて公開してください。

BUSINESS CAREER

主な事業経歴

1990年代	通信・ソフトウェア・非対面型クレジットカード決済システムの開発
1990年代前半	オンライン決済関連技術を発明・特許出願
1995年〜	現GMOペイメントゲートウェイ株式会社の前身企業において、オンライン決済関連事業の企画・開発・事業化を推進
1990年代後半〜	EC決済、情報セキュリティ、暗号技術、インターネット関連事業を展開
2000年代〜	自動車、モバイル、決済関連分野を含む新規事業開発・アドバイザリーに従事
2019年〜	再生医療関連事業に参入
現在	再生医療・Longevity・バイオテクノロジー領域を中心に、新たな事業モデルの構築と社会実装を推進

PHILOSOPHY

技術を、社会へ。

「技術を発明するだけではなく、
社会に実装し、事業として成立させる。」

その思想は、オンライン決済の黎明期から現在の再生医療・Longevity事業まで、一貫して大野俊夫の事業活動の根幹にある。

技術とビジネスを結びつけ、新たな市場をつくり、社会に実装する。その姿勢を軸に、次世代の産業創出に挑戦している。

REGENERATIVE MEDICINE	再生医療分野における技術・事業モデルの社会実装
LONGEVITY	健康寿命・ウェルビーイングを見据えた新規事業開発
BIOTECHNOLOGY	バイオテクノロジーと事業開発を融合した新産業創出

PROFILE NOTE

本資料は、大野俊夫の経歴資料および公開特許情報をもとに、会社案内・公式Webサイトの詳細プロフィール表示用として編集したものです。GMOペイメントゲートウェイ株式会社については、現在の同社との関係を示すものではなく、前身企業の創業期における大野俊夫の事業活動を記述しています。